

## <本部便り1> 新年のご挨拶(2020年度)

### 「うばい合うと足らないけど わけ合うとあまっちゃうんだなあ」

同窓会会長 羽田克己

皆さんお元気ですか?冒頭の言葉は相田みつをさんのことばです。私はこのことばが好きでいつも心にとめて生きておりますが、実行は難しいです。どうしても欲が出てしまいます。

さて昨今の新型コロナウイルスで日本中大騒ぎですが、毎年恒例のように地震があり、台風の大雨、洪水と多くの自然災害が発生します。その度に反省と備えをしていますが、今回のように突然起こる事態には全く対応できません。想定外のことが今後も発生すると思わなくてはならないと覚悟する必要があります。

自然以外にも政治・経済では世界的に大揺れで安定した国がありません。自分さえ、自分の国さえ良ければということなんでしょうか?。冒頭のことばのように行かないものなんでしょう。

また自分の周りを見回せば、老人が増えて、日本人の人口が減り、二人に一人が癌になるという健康問題、介護の問題、引きこもりの問題など、考え出すと休まる暇もありません。考え出すと、不安だらけ、不満だらけになってしまいます。だからと言って、政府や他人のせいにしたら、その不満で自分が病気になってしまいます。

大切なことは自分の気持ちです。これは人に頼らず自分で決められます。どんな窮地に立った時でも、その心の積極性を失わないような言葉を雄しく勇ましくすることだと思います。前向きで、明るく、楽しいことをイメージして、一日一日を大事に感謝して生きることではないかと考えています。この単純なようなことを心掛けていけば、どんな突発なことが起きようが乗り越えていけると信じています。会員の皆さんのご健勝を心よりお祈りしています。

## <本部便り2> 信濃鼓動 ” 役員会便り:第10回役員会報告 ⑩ ”

昨年(2019年)の第9回後の1年ぶりの役員会が 東京(羽田邸)で開催されました。東日本の”新年会と記念祭の合同練習も併せての開催で多忙の1日でした。今回のメインテーマは”2年後に迫った60周年記念祭と記念祭以降の本部役員人事でした。今回の結果です

### 【60周年記念祭】

候補日:2022年8月6日(土) 予備日8月7日(日)

会場:松本市内の音楽ホール(1年前予約で確定)

### 《主要ポイント》

\*記念祭での催し物は、現時点で”記念式典””演奏会””記念小雑誌””懇親会”等です。今後皆様からの良き提案をお待ちしています。

\*演奏会については、昨年現役の皆様と大筋の合意がとれ、今後は合同練習等の協力作

業を進めますが、先ずは合同練習につき同窓会側案を決め相談して決めてゆく。尚、事務方作業は来年から本格稼働とする。

#### 【合同練習日案】

- ・期日：第1回 2020年総会日と併催：6月20日（土）松本”みやま荘”  
第2回 2021年6月19日（土）：6月19日（土）松本市内（未定）  
第3回～4回は2021年11月（現役定演後）以降決めていく

\*今年入学の新入生が開催年には3年生となるので、今後この新入生を中心に同窓会役員と詳細を詰めていく。併せて恒例の郵送ではこの記念祭情報の詳細をご案内する。

#### 【今後の人事案件】

\*会長より2022年の”60周年記念祭”を節目に今後の同窓会役員人事につき配慮していきたいとの方針が出された。これを受け、役員会として今後2年の間に人材の確保に向け進めていく旨の確認をした。その他の2、3点の議題については、検討・確認し共に先に進めていくよう了解された。

副会長・東日本支部長 齊藤学（S41年工学部入学）

### <本部便り3> マンドリンオーケストラの音色に魅入られて

信州大学マンドリンクラブ 本部長 山本 栞大さんのあいさつより



第57回 信州大学マンドリンクラブ定期演奏会  
2019年11月4日 長野市ホクト文化ホール中ホール

—略—思えば当団体は、北は北海道、南は兵庫県と生まれも育ちも違い、趣味も違えば、好きなものも違う人間の集まりです。そんな私たちがたった1つ、マンドリンオーケストラの音色に魅入られて、この場所にいます。—略—団員一人ひとりが様々な軌跡を辿り、自分色の個性をもって演奏会に臨んでいるのだと思います。個性は時にぶつかり合い、時に共鳴し合いますが、それが私たちの演奏を唯一無二のものにしてくれます。このメンバーでしかできない音色と誇りを持って皆様にお届けしたいと思います。団員35名、三十五人三十五色で彩られた演奏会と感じていただければ幸いです。以下略

### <支部便り1> 甲信越支部より近況報告

#### 甲信越支部より新年のご挨拶を申し上げます

明けまして おめでとうございます

甲信越支部の活動として、昨年9月までは報告済みですのでそれ以降の報告をしな

から新年のご挨拶を致します。

9月15日、甲信越支部幹事長・金井正広さんが自治会長を務めた上田市長島自治会の敬老会で演奏をしたことまでを前回のニュースで報告いたしました。

この後の甲信越支部の活動としては次の通りです。

- ① 12月11日、“信州大学ものづくり振興会”が元女子ソフトボール日本代表監督・宇津木妙子さんの特別講演会を行い、この後の第Ⅱ部の行事として音楽観賞会が企画され、当支部の市ノ瀬茂さんを介して、我々が演奏をすることになりました。

会場は信大工学部内で、100人前後の聴衆を前にしての演奏で若干今迄の演奏よりは緊張感がありましたが、市ノ瀬さんの評価では出来がよかったです。

この時のプログラム、参加メンバーは次の通りです。

**\*\*\* プログラム \*\*\***

1. テキエロデヒステ（作曲：Maria Grever）
2. 童謡“春夏秋冬”（編曲：市ノ瀬 茂）
3. 風雪ながれ旅（作曲：船村 徹、編曲：折井 清純）
4. 高校三年生（作曲：遠藤 実、編曲：飯島 安仁）
5. 津軽海峡冬景色（作曲：三木 たかし、編曲：山本 雅三）
6. 涙のトッカータ（作曲：G. Rolland、編曲：市ノ瀬 茂）
7. 山峡（作曲：川崎 貞利）
8. 帰郷（作曲：Konrad Wölki）



2019.12.11

信州大学ものづくり振興会での演奏

**\*\*\* メンバー \*\*\***

指揮者	庄村 靖弘
司会者	上野 武男
1st.Mandolin	西沢今朝治、西脇育子、鹿野美智子
2nd.Mandolin	林 典子、近藤美代子
Mandola	鶴見 鍵二、林 次信
Cello	細野ひろみ
Guitar	日野 博明、北山知恵子、金井正広
Bass	市ノ瀬 茂



同日、上記の出前演奏終了後、上山田温泉に移動して昨年同様に宿泊を伴う甲信越支部忘年会を開催し、楽しい今年の締めくくり懇親会を執り行いました。

昨年の甲信越支部では、巨大台風等の自然災害で大変な目にあった支部員もいたりして、皆さんの温かいご支援を戴き ありがとうございます。今年の甲信越支部の活動も、3月1日の「うつくしの湯出前コンサート」をスタートに頑張っていきたいと思えます。本年もよろしく お願い申し上げます。



2019.12.11 上山田温泉にて忘年会

甲信越支部長 日野 博明 (S43 年繊維学部入学)

## <支部便り2> 台風 19 号で大きな被害を受けた徳永さんからの便り

徳永さんからの御礼文

本日は西脇さんより同窓会の皆さんからの水害お見舞いをいただきました。本当に有り難くご支援に感謝いたします。

まさかこんな大きな水害に会うとは思いませんでした。昼間の3時半に荷物を少し持って軽い気持ちで五分ほど離れた母のところに避難しました。気楽に二人で秋のごごのお茶を飲んでいました。

だんだん雨が降ってきました。主人も避難してきました。停電が3日ほど続き千曲川が決壊しました。ヘリのおとが絶え間なくしています。二百人ほどヘリに救出されました。3日ほどたち家にいくことができました。

自分の部屋を見てビックリです。タンスなど回転したあとで引き出しはまったくあきません。ボールで壊してもらい泥だらけの品物をほぼ廃棄にしました。物置小屋土蔵もみんな水没でした。古い荷物からみんな軽トラックに積んで五十台以上廃棄してもらいました。親戚の人や主人の教え子たち 沢山の友人方々そしてボランティアの沢山の若い人や中年の人に連日に渡り片付けのおてつだいをしていただきました。

マンドラもマンドリンも楽譜も泥水に浸かり処分となりました。私も68才です。なくしていいものばかりですが 写真は大切でした。孫の写真はなんとか乾かしてたくさんのかきました。冬の仕事に整理します。

さんずいのつく赤沼に住みながらいつか水害に会うかもとおもっていました。大切な子供の頃からの写真から青春時代の写真などは二階の天袋にしまっておきました。無事でした。二階はぶじでした。

春まで床を剥いだところは乾かします。お年取りまでには大工さんにすめるようにしてもらいます。あと20日ほど頑張ります。

西脇さんわざわざ届けていただきありがとうございます。同窓会の皆様ありがとうございました。

## 徳永さんの災害の様子を知り、皆さん寄せられた寄稿

今回の台風で千曲川が氾濫したのはニュースで知っていましたが、我がマンクラの仲間が被害に遭っていたのは初めて聞きました = 何か出来ることがあったら言ってください。

城所 佑吉さん

台風の被害はひどかったですね。同窓会からのお見舞いに感謝します。長野県の方が多いので気になっていましたが、実際に悲惨さを読むとさらに心が痛みます。防災が叫ばれていてもなかなか自分に引き寄せて準備できないのが現実です。

地球状態がどんどん悪い方向に向かっていくようで想像を絶する事態もおこるでしょうね。寒さもこれから本番、ご自愛ください。

石田 絢子さん

## <支部便り 3> 東日本支部より「新年おめでとうございます」

東日本では 2 月 15 日(土)に羽田会長邸を丸一日お借りし(毎回甘えっぱなしですが...)、合奏練習、本部役員会そして新年会と盛りだくさんの集いをもちました。

60 周年はまだ 2 年半先ですが、なかなか集まって練習する機会が少なく今回初めて予定の全曲を合わせました。特に長澤鉄平さん指揮の曲(交響的前奏曲、荒城の月、雪)は本人の曲想解説を交えながらの指揮で有益な機会をもちました。ただ、今回はドラとセロ奏者が参加できず主旋律が抜け気味の構成となりましたが、そのパートの音は長澤さんの適時な熱唱により埋めて頂き、無事乗り切れました。今回の練習で、6 月の本部総会時の合同練習の演奏イメージが掴めたと思います。

一方、練習の間に別の部屋では本部役員会(愛知や上田からも参集)も開催され、6 月の総会準備の打ち合わせに余念がない様子で、お勤めご苦労様でした。

夕刻からの新年会は羽田さんのご尽力により、趣向をかえた内容で開催できました。羽田邸の大広間で「玉八ショーを堪能する集い」と命名し、日本にたった 4 人しかいない「幫間芸(下図参照)」、玉八師匠の芸を見ながら飲んで食べて英気を養おうと言う企画です。

日本に数人しかいない  
希少芸の継承者

# 悠玄亭玉八

師匠の幫間芸を堪能!

過去参加者の口コミ

幫間芸を鑑賞したのは初めての方がほとんどでした。玉八師匠との距離も近く、いい意味での緊張感もありました。個人ではなかなか体験できない大人のお座敷遊びにメンバーは大満足のようでした。

(七十代男性)

玉八さんは、ダンディーなおじさまだだったのでビックリ。その芸も小粋でおしゃれで「大人の遊び」という感じです。玉八さんとツーショットで写真を撮ってもらって大満足でした。

(五十代女性)

たいこもち(幫間芸)とは  
宴席やお座敷などの酒席において主や客の機嫌をとり、自ら芸を見せ、さらに芸者・舞妓を助けて場を盛り上げる。男性の職業の為、演者を「男芸者」とも呼ぶ。

(ワイキキメディアより)

伝統芸能を手の届く近さで見るとは皆も初めての事(羽田さん親戚・知人も加わり約 30 人)、美味しい料理と酒を味わいながらの「笑いと粋の座敷」でした。終了後は師匠も加わった宴席が続き予定時間をかなりオーバー、貴重なひと時を体験しました。

東日本の演奏者は各自が主宰・参画する楽団の活動が主体ですが、今後は支部練習活動も時折加えて 60 周年に向けた準備を演奏部会委員と少しずつ整えていく予定です。





悠玄亭玉八師匠の熱演

また、「演奏しないメンバーも支部や60周年に向けた活動に気軽に参加できるような“企画や役割”、これを皆で工夫するのも本来の同窓会活動に欠かせない課題です。また、今年も新年会翌日の2/16に開催された松下さん(S46 工卒)出演のアンサンブルマーレをスタートに、7つのメンバー出演コンサートが予定されています。都合をつけて互いに訪れ合いましょう(同窓会ホームページに適時ポスターが掲載されます)。東日本支部幹事長 三戸 純 (S43年繊維学部入学)



羽田会長とご家族



左から三戸さん、伊藤さん、鈴木さん、  
斉藤さん



左から福永さん、小川さん、西川さん、  
武内さん

## <支部便り 4> 西日本支部 新年おめでとうございます

令和2年の新年号では、西日本支部所属で他の社会人マンドリンクラブでも活躍している仲間とそのクラブを紹介します。

### ■ 岡崎マンドリンアンサンブル (昭和39年入学 渡辺賢二)

1991年に結成、団員数41名(20代~80代)月4回の練習(他に2回自主練習)5年ごとの定期記念コンサート・中間年にテーマコンサート。年数回の依頼演奏、レパートリーは280曲以上あり。



### ■ マンドリンぐるっぼ (昭和39年入学 渡辺賢二)

年金者組合岡崎支部の同好会として2012年9月に立ち上げました。現在会員は9名(内4名が60代で初めた人)、月2回練習支部の芸能祭・県本部の文化祭、支部内の交流会、デイサービスのボランティア演奏、他にも老人会など出演依頼に積極的に出かけます。



楽譜を見て指を動かし弦をはじいて音色を聴く、マンドリンは脳トレにぴったりです。これから来月も来年もマンドリンを続けて行けるよう毎日を楽しんでいます。

渡辺さんは、2006年会社退職を機に残る人生を考える中、学生時代に熱中したマンドリンを思い出し、岡崎でマンドリンアンサンブルに参加されたそうです。定期演奏会で初心者歓迎の自作チラシを入れて募集し、立ち上げたクラブが“ぐるっぼ”だそうです。西日本の最年長でエネルギッシュなマンドリニストです。

### ■ マンドリンアンサンブルトレピーノ (昭和42年入学 谷口博光)

三木市にある「トレピーノ」(3本の松)を意味しているらしいのですが、第2、第4土曜日に練習して、春5月、秋11月に発表しています。

春5月の発表ではこのクラブが6グループ集まって合同発表会を行っていますので、総勢は結構な人数となりフルートなどの管楽器、コントラバスなどを招待してやるのにぎやかになります。平均年齢が60歳を超えるのでそれぞれ体調が悪くな





ったり、介護などでメンバーが減ってくるのが悩みです。もう5年ほどかわいがってもらっています。

谷口さんは、犬にも造詣が深く、盲導犬協会のボランティアとして、忠犬ハチ公を始め各地の名犬生誕の地を訪ねて、盲導犬候補となる犬を探す旅などもされています。

### ■長浜ギター・マンドリンアンサンブル

(昭和49年入学 力石恒雄)

参加のきっかけ：前任のCb奏者のご高齢で退部されたことをきっかけに入部しました。2018年9月より参加させてもらいました。

1976年結成、団員数24名、月3回の練習、年一回の定演・年数回の依頼演奏、定演は地域の湖北オケやアンサンブルひこねの賛助を受けて大曲も演奏します。いつもお客様満員、昨年は104%の入りでした。若い方からご高齢の演奏者が多いのが特徴です。写真上は去年6月16日の定演です。

力石さんはアンサンブルひこねにも参加されています。(写真下のベーシスト)、また、奥様が勤務されている豊郷病院では毎年、西日本支部メンバーによるセタコンサートが開催されています。奥さまも近々マンドラでカムバックの予定です。



### ■マンドリーノ洋

(昭和58年入学 西河ひとみ)

30年来の地元のマンドリンの仲間と、2008年に結成しました。団員数は、15名で、隔年ごとに「ハートフルコンサート」を行っています。

普段は、地域の老人会からの依頼演奏や、介護施設への慰問等、聴いて下さる方との近い距離感を大切にしながら、楽しく演奏しています。練習は、原則月2回ですが、団員の都合によって変わり、気楽に参加しています。





■リビング（マンドリン四重奏団）  
（昭和58年入学 西河ひとみ）

4人のグループで、2015年に結成しました。リビングという名前は、いつもメンバーのご家庭のリビングで練習をしていることから名付けました。県立びわ湖ホールやひこね文化プラザの舞台にも立たせていただき、自分の演奏を振り返る良い機会にもなりました。練習は、4人の予定に合わせて流動的に行っています。

西河さんは昨年から参加され、紅二点として、なごやかな雰囲気を作っていました。



■稲沢ギターアンサンブル

（昭和43年入学 久保田一久）

主催の市民文化講座の会員有志10名を母体に、「稲沢ギター愛好会」として発足しました。その後1996年に名称を現在の「稲沢ギターアンサンブル」は、1979年秋に「稲沢市ギターアンサンブル」とし、2019年には結成40周年を迎える稲沢市内でも歴史のあるサークルのひとつです。男性13名、女性6名、計19名です。年齢層40～70代、老いも若きも頑張っています。

一久さんはギターアンサンブルが忙しいのか、西日本の練習には中々来てくれませんが、新年会には必ず参加してくれる愛すべき仲間です。



■島田マンドリンアンサンブル

（昭和43年入学 池田 晶）

現在部員数は約25名、島田市を中心に近郊の市から集まる社会人サークルです。多くの方々にマンドリン音楽を楽しんでもらえるように、演歌を中心に叙情歌・映画音楽・ポピュラー・マンドリンリトリカル・クラシックアレンジ等を演奏しています。コンサート活動として定期演奏会・市民音楽祭・文化祭出演、年5～6回の出前コンサートを実施しています。今年11月29日（日）に45回定期演奏会を行います。また3月15日には県マンドリンフェスティバルに参加します。詳細は島田マンドリンアンサンブルのホームページをご覧ください。写真は2019年44回定期演奏会のものです。

池田さんはこのクラブでコンサートマスターとして永くご活躍されていました。近々息子さんのいる神戸に転居されるとのこと、メンバー一同西日本支部への参加を心待ちにしています。



最後に西日本支部の大黒柱、大原さんが以前コンサートマスターをされていたクラブを紹介します。彼は 50 周年記念演奏会を期に社会人クラブを卒業され、現在は指揮者として西日本支部の指導に全力投球していただいています。時々古楽にも顔を出されているようで、昨年パルナソスの 30 周年記念演奏会で OB・OG 合同ステージにも参加されました。

■姫路パルナソスマンドリンオーケストラ

(昭和 44 年入学 大原秀樹)

姫路市を拠点に社会人主体で活動を行っているギター・マンドリン団体です。財団法人姫路市文化国際交流財団の文化活動助成により設立され、主たる発表の場である同財団施設「パルナソスホール」にちなんで命名されました。



その他の仲間を紹介します。

■伊藤雄二（昭和 45 年入学）マンドラ

発明クラブ、俳句の会、ウォーキング、と多才の人です。今年から本部の総務を任せられマンドリンに集中するそうです。プロのマンドリニスト佐々木敏氏の教室に通っている努力家です・。

■市川正明（昭和 42 年入学）ギター

病後のリハビリ中、復帰を待っています。

■神谷敏雄（昭和 41 年入学）ギター

ランドセル作りのマイスター。ただ一人メールをやらず、古き良き時代のアナログ人間です。

■久保田さち（昭和 43 年入学）マンドリン

現役の臨床心理士として忙しい中これまで紅一点で頑張ってきました。

■久野元典（昭和 43 年入学）マンドロンチェロ

農協のいちじく部会長、ギターパートから昨年マンドロンチェロに移籍し頑張っています。

■古林誠二（昭和 44 年入学）マンドリン

日本酒をこよなく愛するダンディーなちょい悪おやじ（お爺さん）

■中江康文（昭和 56 年入学）ギター

刈谷の病院に勤務するお医者さん。働き盛りでなかなか時間が取れません。

■中村雄二（昭和 42 年入学）ギター

ギターの要です。今話題の藤田医科大学岡崎医療センターの近くにお住まいです。

■早川勉（昭和 47 年入学）ギター

昨年参加、歴史大好き人間。ボランティアで名古屋城の公式ガイドをやっています。

■町野なお子（昭和 42 年入学）マンドリン

お茶とお花のお師匠さん。お弟子さんの指導が忙しくて、最近はお無沙汰です。時々顔を見せてください。

■盛岡孝史（昭和 45 年入学）マンドリン

彼は私（伊東）が昔在籍していた会社の後輩で卒業後 SUMC 同窓会で約 50 年ぶりに再開、その時初めておたがいマンドリンをやっていたことを知りました。縁は異なるもの。



■輪違征夫（昭和 39 年入学）ベース

病後のリハビリ中、復帰を待っています。

■伊東義敏（昭和 41 年入学）

最近、五線が六線に見えます。拡大できるモニター付きの譜面台がほしいです。

以上が西日本支部のメンバーです。今年の予定は以下の通りです。いつでも気楽に見学に来てください。60 周年記念祭を機に又合奏を始めましょう。

副会長・西日本支部長 伊東義敏（S41 年工学部入学）

2 月 01 日（土）：新年弾き初め会・米原公民館

3 月 07 日（土）：練習会・米原公民館 : 集合 13:00

4 月 04 日（土）：練習会・米原公民館 : 集合 13:00

5 月 02 日（土）：練習会・米原公民館 : 集合 13:00

6 月 06 日（土）：演奏会&練習会・米原公民館 : 集合 10:00

6 月 15 日（月）：練習会・米原公民館 : 集合 13:00

6 月 20 日（土）：SUMC 同窓会総会（第 1 回合同練習）・松本みやま荘

7 月 04 日（土）：演奏会・滋賀県豊郷病院七夕コンサート

8 月：休み

9 月 05 日（土）：練習会・米原公民館 : 集合 13:00

9 月 21 日（月）：名古屋市北区光城学区敬老会演奏会（検討中）

10 月 3 日（土）：練習会・米原公民館 : 集合 13:00

11 月 7 日（土）：練習会・米原公民館 : 集合 13:00

12 月 5 日（土）：練習会・米原公民館 : 集合 13:00

以上